

ボールの特性レポート

BALL REPORT



ボール名 ホワイト・ホットバジャー	投球者 徳江 和則	センター 平和島スターボウル
RG 2.570	△RG 0.041	●ピン ★PAP ✕CG ■バランスホール

テストボール：ホワイト・ホットバジャー

フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤

比較対照ボール：バジャー

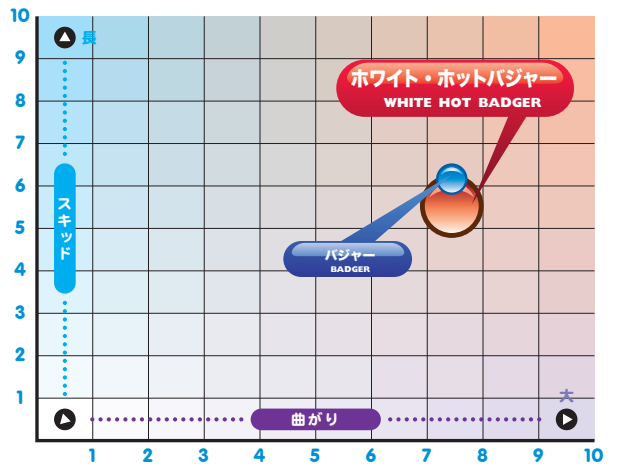
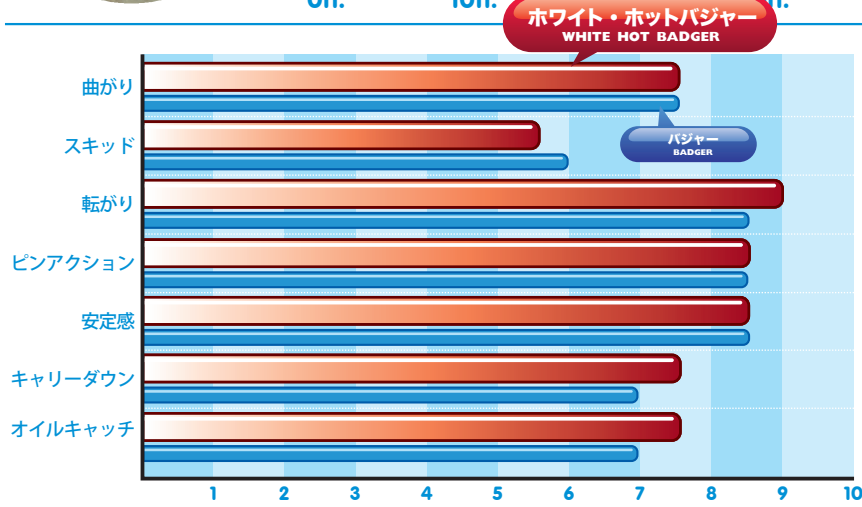
フレアーの幅 インチ

PAPからピンとの距離 **4-1/2** インチ

表面加工
 箱出し状態
 加工
 ペーパー
 ポリッシュ
 研磨剤



- ヘビー
- ミディアム
- ライト
- バフ



レーンコンディション: Light Oil, Light to Medium, Medium Oil, Medium to Heavy, Heavy Oil

バックエンドリアクション: Smooth, Smooth to Arc, Arc, Arc to Sharp, Sharp Angle

レンジス: Early Roll, Early to Med, Med-Lane, Med to Late, Late Roll

ボールの評価

ハニーバジャーとハニーバジャー・ティールがそうであったように、S71カバーストックは配色で様々なパフォーマンスを見せる素材です。White Hot BadgerはS71 Pearlカバーストックを”真珠”のようなWhite Pearlの配色にすることで、急激に向きが変わるボールとして仕上がってきました。単純に配色だけを変えているように見えて実際に投球してみると、”最新”さを感じ、パフォーマンスは”熱く”、”興奮”出来るほど”人気”がでるBadgerだということ。この実感がWhite Hot Badgerというネーミングの所以になっていることも頷けます。”初代BadgerはS71 Hybridでしたが、走りもあり、先での入射角が明確にみえる性能であることから、さらに奥の動きを強調させたBloody Badgerも合わせ、女性も含めた多くのボウラーに使用して頂けました。このWhite Hot Badgerはミディアムコンディションで他社を圧倒できる攻撃的のスペックとして、ハニーバジャーやハニーバジャー・ティール同様に”攻めのボウリング”の性能に感じることが出来ます。

初代Badgerと比べるとHybridとPearlの差はあるのですが、私にはWhite Hot BadgerのほうがBadgerよりも曲がりが大きくなってしまいます。Bloody Badgerの時も同様に感じたのですが、HybridやPearlは配色や配合比でパフォーマンスは大きく変化するように感じ、今回のWhite Hot BadgerはS71 Pearlカバーストックでもやや噛み具合が強い仕上がりになっているという実感が私にはありました。Whiteの配色のボールは今まで幾度か投げてきましたが、一種独特なキャッチと曲がり具合のイメージがあります。このWhite Hot Badgerも同様のイメージがあり、入射角のある鋭い曲がりがありますが、柔らかく切れ込むイメージはBloody Badgerとはやや違ったリアクションも両者差別化できており、まずこのボールを投げるととにかく目立ちます！攻めのBadgerにきれいなWhite Pearlということも購入のポイントになると思います。

特記事項

凄くきれいなWhite Pearlで見た目的人气がでると想像つきます。パフォーマンスも攻撃的にラインを攻められるので、ミディアムコンディションで攻めのスペックを待ち望んでいた方はぜひご購入ください。